

「ふるさと名誉博士」を獲得

望月 美德 さん



「ふるさと名誉博士」とは

静岡県が主催する「しずおか県民カレッジ」に登録された講座の単位を修得することで獲得できる称号で、その中で最も獲得が難しい「ふるさと名誉博士」は、1,000単位（1,000時間）受講し申請することで授与されるものです。富士宮市の公民館講座「宮ゼミ」も登録されており、望月さんは、ほぼ「宮ゼミ」だけで称号を獲得されました。

1,000時間受けたからこそ分かる！！ 宮ゼミの魅力と楽しみ方とは！

【職員】「しずおか県民カレッジ」のメニューから、ほぼ宮ゼミだけで千単位受講され、見事、「ふるさと名誉博士」の称号を獲得した「望月美德さん」から、宮ゼミを受講したきっかけや魅力など、「ふるさと名誉博士」獲得までの道のりをインタビューしていきたいと思えます。望月さんよろしくお願いたします。

【職員】今回獲得された「ふるさと名誉博士」の条件である千単位というのは、千時間受講されたということになるのですが、どのくらいの期間で達成できたのでしょうか。

【望月さん】コロナで講座を受けられない時期もありましたが、約十二年〜十三年かかりました。

【職員】これだけの期間、宮ゼミを受講してくださいありがとうございます！

称号獲得までいろいろな出来事があったかと思いますが、そもそも何故、約十三年前に宮ゼミを受講してみようと思ったのでしょうか。

【望月さん】もともと県外の出身で、勤め先を退職後、仲間づくりができる場を探していました。また、テニスや社交ダンスが趣味でもともと身体を動かすことが好きだったこともあり、自宅にいるよりも外に出て何かをしたいというときに宮ゼミに出会いました。

【職員】実際に宮ゼミを受けてみて、講座仲間はどうでしたか？

【望月さん】はい、講座でできた仲間と公民館のサークルにも参加して、輪が広がっていきました。

【職員】そのように言っていただけで私たちもとてもうれしいです。

宮ゼミには、定番の人気講座から新しい講座まで様々な講座がありますので、これからは是非、講座情報をチェックしていただければと思います。

【職員】それでは最後に、望月さんにとって宮ゼミとは何でしょうか。

【望月さん】生きがいです。

【職員】ありがとうございます。是非、これからは是非、宮ゼミのファンとして仲間の皆さんと講座を受講していただき、「ふるさと名誉博士」がまた誕生することを楽しみにしています。本日はありがとうございます。

【職員】仲間づくりのきっかけになったのですね。望月さんといえば、染物のサークル活動をしている「ボブラの会」の会長さんでもありますよね？

【望月さん】はい、他にも講座仲間との繋がりがきっかけで、塗り絵や表装のサークルにも所属しています。

【職員】こうした仲間の中にも、望月さんのように「しずおか県民カレッジ」の称号取得に向けて受講している人もいますのですか？

【望月さん】はい、他にもいるかもしれませんが十人ほど知っています。

【職員】望月さん以外にも宮ゼミを熱心に受講してくれている人がいることはとてもうれしいです。宮ゼミの魅力はどのようなところにあるのでしょうか。

【望月さん】仲間づくり以外にも、パン作りの講座のようにお土産ができたり、作ったものを友達にプレゼントして喜んでもらえたりといった魅力があります。また、完成作品を地域の文化祭に出展もしています。

【職員】学びながら仲間ができて、知り合いに喜ばれたり、作ったものを誰かに見てもらえたりすることは、うれしいしやりがいにつながりますね。今後はどのような講座を受けてみたいですか？

「宮ゼミ」は生きがい。



この日使っていたバックは、サークル活動で染物教室を企画し、仲間と一緒に制作したものです。

【望月さん】宮ゼミは、仲間と楽しい時間を過ごしながら、時には新しいことにもチャレンジできるので、生きがいに感じています。そのようなところが原動力かと思えます。



授与された称号の証書

令和六年九月十三日インタビュー実施  
令和六年九月 日発行  
富士宮市 教育部 社会教育課 生涯学習係